



Photos by Sakumi Hagiwara

# 萩原朔美の前橋10年 2026.5.30|Sat.|-2027.1.24|Sun. |

前橋文学館 3階オープンギャラリー

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10

開館時間 | 9時～17時 (入館は30分前まで)

休館日 | 水曜日、9月24日(木)、年末年始(12月29日～1月3日) ※9月23日(水)は祝日の為、開館します。

会場 | 前橋文学館 3階オープンギャラリー 観覧料 | 無料



展覧会案内サイト

Resonant Images: Sakumi Hagiwara's Ten Years in Maebashi

Maebashi City Museum of Literature  
3-12-10 Chiyoda-machi, Maebashi, Gunma

Hours: 9:00 AM - 5:00 PM (admission until 4:30 PM)

Closed: Wed. (excluding Sept. 23 [Wed.], Sept. 24 [Thu.]), Year-end/New Year holidays (Dec. 29 - Jan. 3).

Venue: Maebashi City Museum of Literature, Special Exhibition Gallery, 3rd Floor. Admission: Free



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館



Resonant Images 萩原朔美の10年写真展

# 萩原朔美の前橋10年 Resonant Images: Sakumi Hagiwara's Ten Years in Maebashi

萩原朔美(1946年、東京都生まれ)は、1967年、天井桧敷へ入団し、俳優・演出家として活躍。以降、映像・写真・編集・執筆をはじめ、様々な領域で創作を続けてきました。「定点観測」に代表される実験的な映像や写真の表現は、日常の記憶の断片や特異性を示唆するなど、「時間を捉えて可視化する」ことに一貫したテーマがみられます。近年は世田谷美術館、大阪中之島美術館への作品收藏やM+(香港)での展示などが相次ぎ、作品が再評価されました。

本展では萩原が前橋文学館館長(現在:特別館長)に就任以来、前橋で撮影した10年間の写真を中心に展示します。街中で翻るフラッグや道路標識、影、街路樹、トイレに居る萩原自身などモチーフはさまざまです。

「スマホ散歩」というスタイルで撮影する萩原は、その時の心境を「同じリズムだがメロディが変化する。まるで音楽を奏でる感覚だ」と語り、見慣れた風景に潜む変化や発見を新鮮なまなざしで見つめ続け、独自の表現へと昇華させています。

スマホに溜められた写真はいわば日常を刻む時間と記憶の集積といえますが、それらがモザイク化したフォト・モンタージュとして再構成されると、躍動感ある視覚的な効果が齎されます。

展示会場ではこれらの写真作品と新作の映像作品に加え、詩人 吉増剛造との映像書簡(2023年)など約30点と、アートブックシリーズ(1971年~)、昨年から書きはじめた詩篇も併せて紹介します。

色彩とリズムを放つ作品の数々は、観る者それぞれが持つ概念を揺さぶり、意外な感覚と思考を誘うことでしょう。会場に流れるピアノ曲(山屋寿徳 作曲)と共に  
ご鑑賞ください。

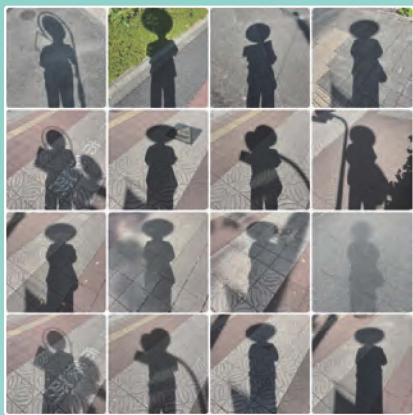
※会期中、一部を展示替えします。



萩原朔美 HP



「カラーコーン」 萩原朔美



「道路標識」 萩原朔美



「2024-2026」 萩原朔美



## 関連イベント

- 5月30日(土) 13時~13時50分(開場12時30分)  
オープニングイベント: 萩原朔美の詩篇朗読とトーク  
ポエトリーフェスティバル共同企画。  
参加費無料、予約不要 会場: 3Fホール
- 6月20日(土) 14時~(開場13時30分)  
朗読劇: 「ここだけの話」  
出演: 萩原朔美、村山朋果、富井大遙  
作: 高橋いさを、演出: 生方保光  
思い出の場所、ピカレスク・ホテルで妻を待つ男の部屋に結婚式場から逃げ出した花嫁が転がり込んで…  
参加費700円、要予約 会場: 3Fホール
- 10月3日(土) 14時~(開場13時30分)  
対談イベント 萩原朔美 × 飯塚花笑(映画監督)  
飯塚花笑(いづか かしょう)  
トランスジェンダーである自身の経験を背景に、マイノリティの視点から作品を制作。「僕らの未来」で2011年PFF審査員特別賞受賞。「ブルーボーイ事件」(2025年)がアジア・ポップアップ・シネマ2026でグランプリ受賞。前橋市PR大使として、前橋を中心に活動。  
参加費700円、要予約 会場: 3Fホール
- 10月24日(土) 14時~(開場13時30分)  
対談イベント 萩原朔美 × 手塚眞(ヴィジュアルリスト/映画監督)  
手塚眞(てづか まこと)  
学生時代から映画・テレビ等の監督を始め、数々のコンクールで受賞。映像以外にもイベント演出、ソフト開発、本の執筆等、創作活動を行っている。また、手塚治虫遺族としても活動している。  
参加費700円、要予約 会場: 3Fホール
- 7月4日(土) 14時より 担当学芸員による展示解説  
会場: 3Fオープンギャラリー 参加費無料、予約不要

その他の予定イベント (詳細未定) 中止となりました  
● 11月23日(月・祝日) リーディングシアター「伯爵令嬢小鷹狩揃子の七つの大罪」 作: 寺山修司 演出: 中村ひろみ

各イベントの申込み先 (先着順)  
TEL.027-235-8011

5月30日、7月4日以外のイベントについては予約(自由席)が必要です。当日は参加費として、全館ご覧いただける企画展観覧券をご購入ください。

詳しくはHPにてご確認ください。  
<https://www.maebashibungakukan.jp/>



同時開催 ※予定は変更になる場合があります。

### 前橋文学館

萩原朔太郎生誕140年記念展 「ふらふらふらぬ〜 朔太郎の危険な散歩」  
6月13日(土)~9月6日(日)  
「この弱気な両手であなたに触れる 第33回萩原朔太郎賞受賞者 大崎清夏」展  
9月19日(土)~2027年1月24日(日)

### アーツ前橋

「塩原友子の日本画 線と表現、その先の祈り」展  
4月25日(土)~6月14日(日)  
「ぬけみち展 かわす・つくる・共にいる一生きるための回路」  
7月4日(土)~8月30日(日)  
「めぶく。Where good things grow 前橋国際芸術祭2026」  
9月19日(土)~12月20日(日)



### ◎アクセス◎

電車: JR前橋駅北口から徒歩約15分/タクシーで約10分  
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分  
バス: JR前橋駅北口バスのりば  
・3番のりばから「中央前橋駅」行き(シャトルバス)  
「中央前橋駅」下車 徒歩約5分  
・6番のりばから「荻窪公園・嶺公園」行き  
「城東町二丁目バス停」下車 徒歩約5分  
自動車: 関越自動車道 前橋ICから車で約15分  
※広瀬川サンワパーク(市営P城東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。